

「阪急西宮ガーデンズ（本館）」の全防犯カメラ（約300台）にアジラが開発・提供するAI警備システムを導入拡大
～「ハービスPLAZA ENT」において、新たに、人流解析の実証実験を開始～

阪急阪神不動産株式会社（本社：大阪市北区、社長：諸富 隆一、以下、「阪急阪神不動産」）と株式会社アジラ（本社：東京都町田市、代表取締役：木村 大介、以下、「アジラ」）は、2020年12月より、大型ショッピングセンター「阪急西宮ガーデンズ（本館）」（所在：兵庫県西宮市）において、数十台の防犯カメラに、アジラが開発・提供する「AI警備システム『アジラ』※」を導入し、実際の運用を想定した実証実験を進めてきましたが、この度、「転倒」等の警備対応が必要となる事象の検知について、一定以上の性能に達していると認められたことから、同施設の全防犯カメラ（約300台）に導入を拡大し、本格運用に向けて更なる検証を進めてまいります。

また今般新たに、商業施設「ハービス PLAZA ENT」（所在：大阪府大阪市）において、アジラが2022年12月にリリースしたラインクロス検知機能（設定ラインを跨いだ人数をIN/OUT両方でカウント）等の行動認識AIソリューションによる人流解析の実証実験を開始することとしましたので、お知らせいたします。

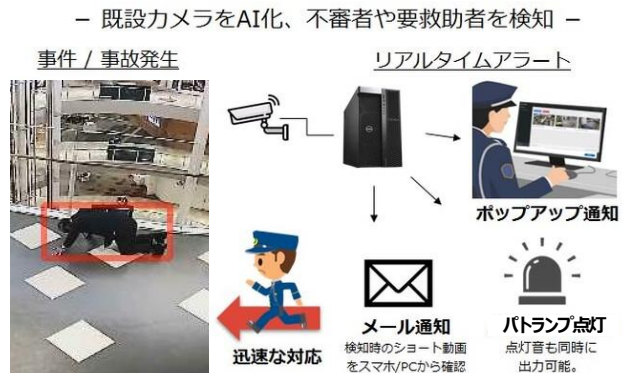
※ 既設の防犯カメラシステムをAI化できる施設向けAI警備システムで、カメラ映像の中から異常行動（転倒、ケンカ、破壊行動）や不審行動（ふらつき）など、通常の行動から逸脱した「違和感行動」をリアルタイムに検知・通知することが可能です。

（参考）2022年11月1日リリース（https://www.hhp.co.jp/data/pdf/2_1cnhhbr1rjpc8kwc8kkkgo8gw.pdf）

◆「**阪急西宮ガーデンズ（本館）」の全防犯カメラ（約300台）にAI警備システムを導入拡大**



阪急西宮ガーデンズ 外観



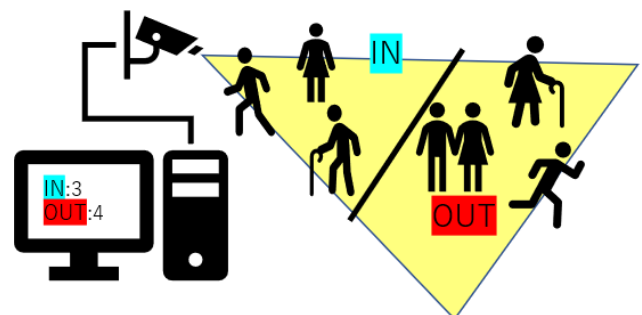
◆「**ハービス PLAZA ENT**」において、アジラの行動認識AIソリューションを活用した人流解析の実証実験を開始

ハービス PLAZA ENT 地下2階に設置したカメラに、アジラが開発・提供するラインクロス検知機能等の行動認識AIソリューションを導入することで、店舗前の通行者数及び店舗への入店者数、その性別や年齢などの属性、複数カメラ間での同一人物検知による買い回り行動データの取得・解析を行います。この実証実験から得られる知見を活かし、お客さま・入居テナントさまにとって、より魅力的な施設運営を目指してまいります。

実施期間：2023年3月1日(水)～5月31日(水)



ハービス PLAZA ENT 外観



ラインクロス検知機能 イメージ

2022年10月には、阪急阪神不動産が2019年8月に設立したコーポレートベンチャーキャピタルファンド「HHP 共創 ファンド1号投資事業有限責任組合（以下、「本ファンド」）」がアジラに出資を行うとともに、阪急阪神不動産とアジラの両社間で事業提携契約を締結しており、今般の取組は事業提携の一環として実施しています。

阪急阪神不動産は、今後も本ファンドからの出資等を通じたスタートアップとの共創を推進し、スタートアップが有する先端技術や革新的な事業手法と、阪急阪神不動産が有する経営資源を融合させることにより、お客さまへの新たな価値の提供に取り組んでまいります。

■ 株式会社アジラ概要

所在地：東京都町田市中町一丁目4-2

設立：2015年6月

代表者：代表取締役 木村 大介

事業内容：AI 警備システム「アジラ」の開発と販売

「アジラ」企業ロゴ



■ 本ファンドの概要

| | |
|--------|--|
| 名称 | HHP 共創ファンド1号投資事業有限責任組合 |
| 設立目的 | 阪急阪神不動産株式会社の既存事業の競争力強化・効率化（生産性向上）、新規事業開発（新たな価値創造の創出）を目的とした同社グループ外企業への戦略的投資 |
| 出資者 | 阪急阪神不動産株式会社（有限責任組合員(LP）） 池田泉州キャピタル株式会社（無限責任組合員(GP)） |
| 組合運営者 | 池田泉州キャピタル株式会社 |
| 出資約束金額 | 1,003百万円（うち、阪急阪神不動産株式会社の出資約束金額：1,000百万円） |
| 設立日 | 2019年8月29日 |
| 期間 | 10年間（2年間の延長可能） |

以上